

6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8

世に基いともちう山川の早瀬の水や清く澄ん

松沢 鉾松の屋

降る中のはれも湯れもなまなりとゆるすむ

下太田 梅廼門

月と花とやもふ降らんぬ松菰山の水

西新坂 秀枝

卒鈴川清く流れては来ぬ松菰水の隅を共あし

千居

世の基いともぬ清水を汲人へんすそと帰るも人

寿枝

洲川の空際をえれ世の闇も辟けてすめ水も波

松沢 喜久岡

梓弓春の力もすそけてみたりふかき谷川の水

永柳 玉廼門

雪消てこゑ立初る雪の山よりあつる雪の川あり

千盛

うみきとの海をえりみてあぬ松菰の川より水

千風

世に基いともぬ山よりききて心清くすめ水も形

下太田 玉清子

あまの道もいけては来ぬ松菰の川より水

松者 本枝

あまの道もいけては来ぬ松菰の川より水

小竹廼門

あまの道もいけては来ぬ松菰の川より水

小竹廼門

明治十四年 志を以